

世界遺産保全 各国50人学ぶ

広島で講演会

世界遺産の価値を考
える講演会が6日、広
島市中区の広島商工会
議所ビルであった。世
界遺産の管理と保全に
関する研修会を開催中
の国連訓練調査研究所
(ユニタール)の広島
事務所が主催。各国の
研修生や市民約50人が

参加した。

研修会の講師を務め
る専門家たちが話し
た。国連教育科学文化

機関(ユネスコ)の諮
問機関、国際記念物遺
跡会議(イコモス)の
マーシャル・ダンカン
氏は、オーストラリ
アの世界遺産の岩山
ウルル(英語名エア
スロック)を例に「旅
行者は岩に上りたが
るが、聖地とみる地元

住民は反対している。
どう両者を調整する
かが課題だ」と指摘し
た。

ユネスコのユナクル
・モンテイラ氏は、6
月に世界遺産登録が決
まった「平泉の文化遺
産」(岩手県平泉町)
などを挙げ「有形であ
る遺産と無形の伝統文
化などを一体で守るこ
とが大事だ」と強調し
た。

7 July 2011, Chugoku Shimbun
About 50 people attended to the UNITAR Public
session, whose theme was the management and
conservation of world heritage sites.